



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

# 広島陵北ロータリークラブ

## - The Weekly Report -



～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

活力漲る楽しいロータリー

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 R.I.会長メッセージ

第1212回例会 2016年6月8日 No.1182号

### ■ 会長時間



#### 会長 川中 敬三

第2例会唱和 ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

『第1、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること； 第2、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものとする； 第3、ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること； 第4、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；』

皆さんこんにちは、6月ロータリーの特別月間はロータリー親睦活動月間です。例会における親睦から始まり、各種サークル、同好会、家族会他色々親睦を図る機会があります。どんな会にもできるだけ出席して親睦を深めるとお互いの気どころがよく解り、奉仕活動の連携もスムーズに進みやすいと思います。どうぞしっかり親睦を深めて頂きたいと思います。

6月5日の日曜日に広島陵北RC25周年記念3RC合同ゴルフコンペを、松田君のところの広島紅葉ccで行いました。総勢9組36名の参加で大変盛り上がりました。夜には表彰式、懇親会をリーガロイヤルにて盛大に開催し、余興のゲームなどで大変盛り上がりました。参加された方々大変長い1日でしたがご苦労様でした。またこの会を開催するにあたって、村上君、松田君にはお世話になりました。これでオフシャル、プライベート含め25周年の行事が全て終わりました。陵北の陵北たる所以の足かけ2年の私の旅も終わりです。これからはしっかりした長期ビジョンの構想に基いて、3年をめどの具体的戦略計画を果敢に推し進め実績を積んでまいりましょう。そうすればあふれんばかりの魅力あるクラブになること間違いなしです。メンバー一人一人の高い構想と、一糸乱れぬ団結力が望まれるところです。必ずやろうとすればできるものです、一歩ずつ着実に進めていきましょう。

さて、本日の例会に広島北RCの山下会長、他お出でになっています。この後調印式を執り行います、お互いのクラブメンバーがビジターとして行きやすいようにしようというものです。北RCと陵北RCはまさに親子関係の仲が深いですし、今までの野球やゴルフはもちろんですが、クラブ間の親睦をさらに深め、奉仕活動においても手を取り合ってやろうというものです。皆さんよろしくお願ひします。本日は以上をもちまして会長スピーチと致します。

#### 今回の例会(6月15日)

正副会長幹事  
退任挨拶

#### 次回の例会(6月22日)

最終夜間例会

#### 出席報告 (例会運営委員会)

##### 6月8日(水)出席者

会員総数	53名
出席会員	42名
欠席会員	11名
ご来賓	0名
ご来客	6名
ゲスト	0名

#### 来客者紹介 (親睦家族委員会)

##### 6月8日(水)出席者

広島RC	2名
広島南RC	1名
広島北RC	3名

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】川中 敬三

【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】高野 憲一郎

【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

幹事報告  
(高野憲一郎)

■お知らせ

- 先週の幹事報告にてお知らせを致しました「小川ガバナー補佐 瀬川ガバナー補佐付幹事」の慰労会は、新年度8月24日(水)に変更となりましたので、お知らせ致します。7月27日は通常例会となります。
- 太田原 学 会員が6月30日付けで退会をされますので、ご報告致します。

- 次週の例会は正副会長幹事退任挨拶となります。
- 本日発行の週報を受付へ置いておりますので、必要な方はお持ち帰り下さい。

SMILE BOX

.....SMILE BOX

**広島北RC 山下正司 様、上河内裕司 様、中山昌実 様**

いつも大変お世話になっております。今日は陵北RCと北RCのメイクアップに関する調印式に寄せて頂きました。将来にわたって長く親交が深まりますようよろしくお願い致します。

**川中敬三 会員、武田龍雄 会員、高野憲一郎 会員**

本日、親ロータリーの広島北ロータリークラブとのメイクアップにかかる調印式が執り行われます。これを機に、両クラブの親睦が一層深まるものと信じております。

**賀谷俊幸 会員、鈴木大次郎 会員、山田和弘 会員**

広島北ロータリークラブの本年度会長・幹事、次年度会長様、遠方よりようこそおいで下さいました。調印式よろしく願い申し上げます。次年度陵北クラブ会長・幹事・副会長より次年度もどうぞよろしく願い申し上げます。

**若林孝光 会員**

私ごとですが、6月4日午後2時36分に3514グラムの女の子を授かりました。初産は38時間という思いもしない長いお産になりましたが、今は無事母子とも健康です。我が子への愛をかみしめる毎日です。(大枚)

**石田愷夫 会員**

3ロータリークラブコンペで優勝を致しました。最近は絶不調だったのでびっくりしています。同伴者でライバルの久保さんありがとうございます。ゴルフ同好会幹事村上君お世話になりました。大変ご苦勞様でした。

**川中敬三 会員**

先日の陵北25周年記念ゴルフ大会ご苦勞様でした。優勝の石田さん、第三位の竹内さん(ベスグロ77点)も合わせて受賞されました。おめでとうございます。

**松田幸久 会員**

6月5日は、広島陵北ロータリークラブ25周年記念ゴルフコンペを、当 広島紅葉カントリークラブで開催して頂きありがとうございました。私自身も参加させて頂き楽しい1日を過ごす事が出来ました。これからも宜しくお願いします。

**武田龍雄 会員、山田和弘 会員**

昨日、当金庫の若手経営者の会である「青年経営塾」21期生として山田会員のご長男に入塾頂きました。今後のご活躍を期待しています。

当日計	36,000円	累計	979,000円
-----	---------	----	----------

## 会 員 卓 話

### ロータリーと会長

森川 和彦 会員

ご参考になるとは思えませんが、ご指定ですので、私の役員経験を少しお話しさせていただきますと思います。

私が最初に役員を経験したのは、平成12-13年度のことで、当時の会長は大旗さん、幹事は前場さんで、藤居さんと一緒に副幹事をやらせていただいた時のことです。大旗さん、藤居さんは、JCで豊富な経験をお持ちですし、前場さんはよく準備をされて整然と事をすすめられるので、私としても非常にやりやすかったのを覚えています。職業柄、一人で仕事をする事が多く、クラブのお世話というのは初めての体験で沢山勉強させていただきました。



それから8年ほどたって、幹事をやれと言われまして、辞退したものの結局拝命することになってしまいました。言われることを処理していればいい副幹事と違って、幹事は大役ですので困ったことになったと思いました。深川純一先生のお言葉を借りれば、会長は大統領、幹事は首相ということですので、会長がクラブの方針を示し、幹事がそれを実行することなのかなとイメージしました。

しかし、会長がいくら方角を指示されても、その意味がわからなければ実行はできません。そこで、幹事就任にあたって遅まきながらロータリーの勉強を始めました。

当時、職業奉仕とロータリー財団の関係についてずっと疑問に思っていました。きっかけは職業奉仕委員長のとときに参加した協議会で、パストガバナーが、職業奉仕の歴史を縷々説明されたあと、もらすように財団に触れ、「個人的な見解だが財団ができてからロータリーは変わってしまったように思うんです」と言われたことです。

調べてみますと、相互扶助から始まったロータリーは、シェルドンによって理論を進化させ職業奉仕の概念が生まれた、このころ奉仕といえば職業奉仕だけであった、ところが身体障害者のための学校を熱心に作っていたメンバーがロータリーでも寄付をつのり、会員の賛同を得て身体障害者に対する支援が一大事業になった、これに対しシェルドンは批判的立場をとり、この慈善活動はロータリーの活動について意見を二分することになった、意見を異にする会員は別にライオンズクラブを設立し、その後も路線対立は続き、1917年に基金が成立、1928年にロータリー財団となった。ロータリー財団は、アメリカ合衆国イリノイ州法に基づく非営利財団法人で、RIは同じくイリノイ州法に基づく社団法人で両者はまったく別の存在であり、財団は法律上目的外の行動はとることができず、目的は概ね人道的支援に限られる、そのためクラブのやりたい事業が、「健常者に対する過大な支援だ」として財団に認められないケースが多く発生しているということです。

ところで、RIは世界各地のロータリークラブを会員とする連合組織で、地区ガバナーは地区内における国際ロータリーの唯一の管理役員ですが、個々のクラブに命令する権限はありません。個々のクラブは、RIの定款や細則などの規定に反しない限り、自由にクラブを運営することができます。それなら、財団にあまりこだわらず、日本の広島市北部の地域に属するクラブとして、地域社会に直接貢献する活動をしなくてもよいのではないでしょうか。

クラブの年間予算は3500万円程度、そのうち1000万円位は繰り越していますので、実際に使うお金は2500万円程度ですが、大金ですから、役員としてはなるべく多くのお金の方が納得できるような活動をしなればいけないと考えて幹事職につきました。

クラブ運営の方針は会長が決定するわけですが、平成20-21年度の本会長はクラブの充実に注力され親睦と会員増強に重点を置かれました。しかし、ロータリーの本質は職業奉仕にあるという私の意見もとり入れてくださって、職業奉仕委員会委員長ではなく会長が、四つのテストを、第一例会だけでなく毎回唱和して始めるようにされたのが印象に残っています。

## 会 員 卓 話

実際の幹事職というのは、たとえていえば昔の洗濯機のようなもので渦の中心にあつて、どんな事柄も最後は全部まわってくるという立場なので、正直大変でした。ですから、終わったときには、クラブ奉仕はこれで勘弁してもらおうと思っておりました。

そしたら、平成25-26年度に下田会長の後をついで会長をやれということで、時間がそんなにはとれない困ったなと思いましたが、本当に最後のクラブ奉仕のつもりでお受けいたしました。

会長となると、まずやらなければならないのは幹事の選定です。誰でもいいというわけにはいきません。幸い鈴木さんが受けてくださったので一安心し、相談しながらスタッフのみなさんをお願いしました。

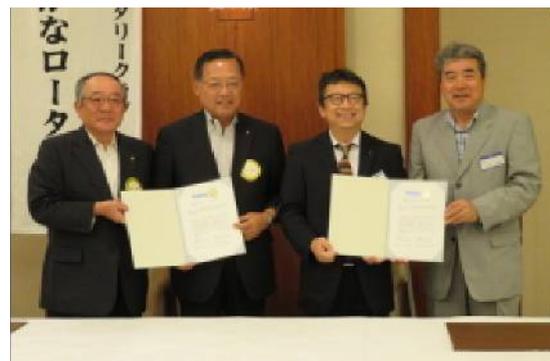
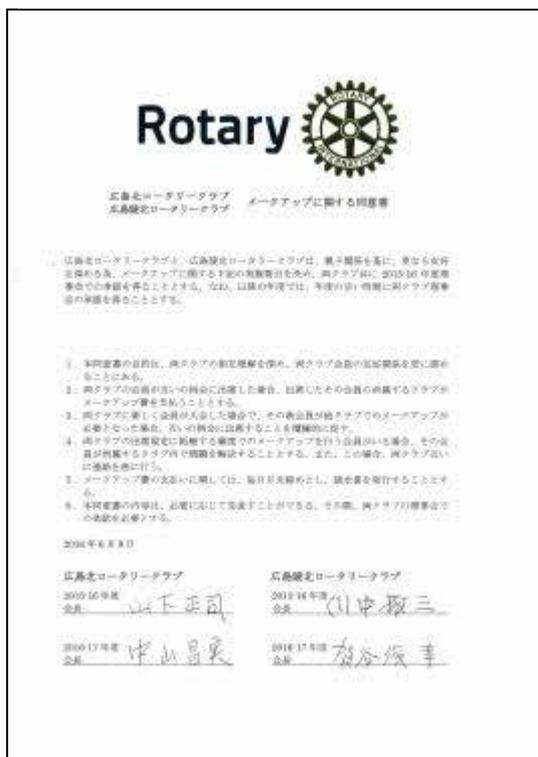
1年間のクラブの活動目標の設定については、幹事のときにいろいろ勉強させてもらったので、割とすぐに方針は決まりました。ロータリーの本質である職業奉仕の実践を試みたい、委員会だけでなく全会員をまきこんで社会奉仕事業を行いたいと思って、テーマは「みんなでやろうロータリー」とさせていただきました。

具体的な事業については、財団のいう人道的援助は、アメリカのような社会福祉後進国ならともかく、国による社会福祉の制度が整備された日本にはあてはまらないと考えておりましたので、クラブの足下に目を向け、健全であるために見逃されがちな少年達の支援をしたい、それはクラブの伝統でもあると考えて、前年度に始まった陸上教室の支援に力点をおくこととしました。陸上王国である広島県の発展にもつながる良い事業だと思ったのです。結果については、会員のみなさんが評価されることですが、私にしてはなんとか責任を果たせたかなと自己満足しております。

直前会長も終え、これで本当にクラブ奉仕は最後にさせていただいて、今は新しい音楽同好会の運営に専心しております。ロータリーのお付き合いは終わりませんので、今後ともよろしくお願いたします。

## 調 印 式

広島北RCと広島陵北RCのメイクアップに関する調印式を行いました。  
これを機に、親子間の親睦を更に深めていきたいと思えます。



※別紙『メイクアップに関する同意書』